

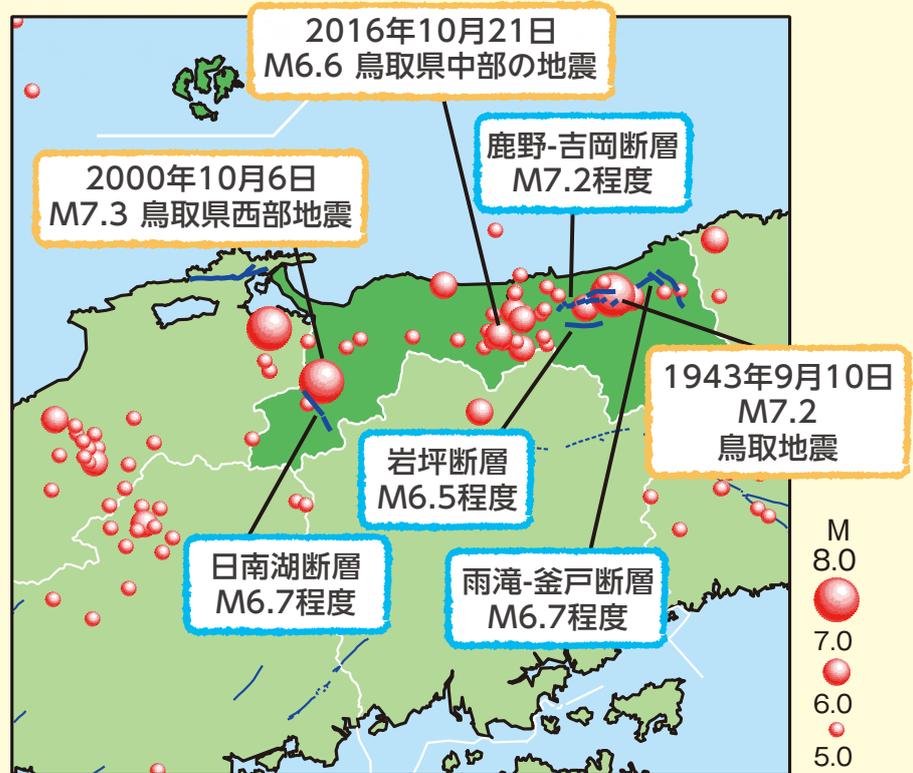
# 地震への備え、 充分ですか？



鳥取でも大きな  
地震がたびたび  
発生しています。



出典：鳥取県発行「鳥取県西部地震の記録」より

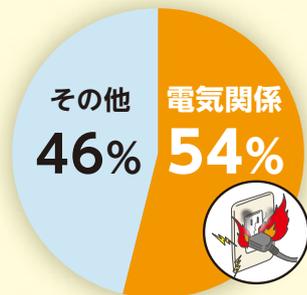


広島地方気象台の提供資料を参考に作成

揺れを感知し、  
電気を自動遮断！

電気火災を防ぐには、  
「感震ブレーカー」が有効です。

## 東日本大震災での火災発生原因



出典：日本火災学会誌「2011年東日本大震災火災等調査報告書」

## 電気火災の例

- 家具の転倒により電気コードが損傷し、停電が復旧したことにより、ショートして着火
- 白熱灯などが転落・落下し、可燃物に着火
- 転倒・落下した可燃物が電気ストーブなどの電熱器具に接触し着火

鳥取県感震  
ブレーカー  
普及協議会は  
こちらから



地震保険は、地震等で被災したとき、  
生活を立て直す力になります。

地震のときの生活再建のため、地震保険の加入をご検討ください

地震保険特設  
サイトはこちら



住宅の修理  
などに関する  
トラブルに  
ご注意



詳細は裏面

# 地震保険Q&A

## 1 地震保険はどのような役目を果たすの？

地震保険は地震への備えとなり、被災後の当面の生活を支える保険です。地震保険の保険金だけでは必ずしも元どおりの家を再建できませんが、生活再建に大切な役目を果たします。

当面の  
生活費



- 地震保険金は使途を限定していませんので、住宅ローンの返済の一部に充てていただくこともできます。

## 4 契約金額はどのように設定すればいいの？

契約金額は、火災保険の契約金額の30～50%の範囲内で設定します。ただし、建物は5,000万円、家財は1,000万円が限度となります。



契約金額  
30～50%



建物  
上限5,000万円



家財  
上限1,000万円

## 2 地震保険は何を補償してくれるの？

地震保険は、地震・噴火またはこれらによる津波を原因とする損害を補償します。

- 地震による火災は火災保険では補償されません。
- 地震保険は、火災保険とセットで加入する必要があります。

地震



噴火



津波



## 5 1年間の保険料はいくらなの？

鳥取・島根では、契約金額100万円あたり次のとおりです。

イ構造(主として鉄骨・コンクリート造の建物)	730円
ロ構造(主として木造の建物)	1,120円

- 2022年10月1日以降に保険期間が始まる契約に適用
- 建物の免震・耐震性能に応じた割引制度があります。

## 3 地震保険は何にかける保険なの？

お住まいの建物にかける保険です。また、住居と店舗等が一緒の併用住宅にもかけられます。さらに、住居内にある家財にもかけられます。

- 建物と家財は別々に加入します。

建物



住居のみに使用される建物および併用住宅。

家財



30万円を超える貴金属・宝石などは含まれません。

## 6 支払われる保険金は、どうやって決まるの？

建物や家財に「全損」、「大半損」、「小半損」、「一部損」の損害が生じたときに保険金が支払われます。保険金を迅速かつ公正にお支払いするために4区分としています。

損害の程度	支払保険金
全損	地震保険金額の100%
大半損	地震保険金額の60%
小半損	地震保険金額の30%
一部損	地震保険金額の5%

- 損害の状況が一部損に至らない場合や門・塀・垣・エレベーター・給排水設備のみの損害の場合などは保険金は支払われません。